

強制力の弱いスターリングサイクル機器の特性理解とその応用に関する研究会 平成24年度 第1回研究会 議事録

開催日時 2012年11月16日(金) 15:00~17:30

会場 神奈川大学みなとみらいエクステンションセンター

参加者

原村嘉彦(神奈川大学) 上田祐樹(東京農工大学), 竹内誠(サクシオン瓦斯), 松口淳(防衛大学), 加藤義隆(大分大学), 土屋(住友重機械工業:オブザーバー), Tang, DaWei(中国科学院:オブザーバー), Li, ZhiGnag(中国科学院:オブザーバー)

議事録

防衛大の松口氏より, 平成24年に開催された第15回国際スターリングエンジン会議(ISEC2012)の発表内容について報告があった。今回の会議ではこれまでとは異なる方法で一部の発表が行われた。それは, 発表をweb上にアップし, Webから発表を見るという方法である。松口氏はWeb上の会議のみに参加し, その報告を行った。

オンライン会議は国際会議に参加するための旅費が必要ないなどいくつかのメリットがあるものの, 発表のクオリティーがバラバラであり, いくつも問題があった。また, アブストラクトによるセレクションも行われており, アブストラクトや題目から面白そうだと感じた発表は現地(クロアチア)での発表であり, Web上からは見られなかった。またホームページの作りや, 運営の問題も多くあった。

次に大分大学の加藤委員より上記の国際会議の現地での研究発表の紹介が行われた。プログラムに沿ってすべての発表の概略が加藤委員より説明された。多くの参加者が1kgで1kWを出力するエンジンの開発を共通の目標として持っているとのことであった。また, 小さな変位で高い周波数で動くスターリングエンジン(高温熱源500°Cで, 出力585W 熱効率21%)など, 新しい視点の研究の紹介もあった。

すべての研究発表が紹介されたため, 有益な情報が参加者に伝わり, また参加者からも多くの質問がでていた。